

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | 第2回日本三百名山鉢盛山 2447 登山マラソン大会 |
| 事業主体 (連絡先) | 日本三百名山鉢盛山 2447 登山マラソン実行委員会 (0263-87-1935) |
| 事業区分 | 3 教育、文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 7,961,965 円 (うち支援金 4,647,000 円) |

事業内容

朝日村庁舎からスタートして朝日村のシンボル鉢盛山山頂で折り返し、朝日村庁舎にフィニッシュする距離約 38km の登山マラソンを実施。

コース設定を改善し、山頂コース (約 38km)、林道コース (約 32km)、ゲートコース (約 12km) とした。また、登山道整備、試走会を実施した。その結果、参加者が第 1 回大会を上回るだけでなく、競技志向の高い選手が参加した大会となった。



【山頂コーススタート】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

申込者 364 名 (第 1 回 : 318 名) 参加者 315 名 (第 1 回 : 283 名) といずれも昨年を上回った。また、参加者からの大会レポートによる評価点も 71.1 点 (第 1 回 : 60.4 点) と 10 ポイント以上増加した結果となり、広告宣伝、大会設定、運営面での改善の効果が表れた。

特に、「完走率」については、第 1 回大会の 57.3% から「90.5%」(33 ポイント増加) となり、大会の認知度及び参加者の競技志向が強まったことが要因と分析される。

大会は、ボランティアスタッフ約 100 名で運営し、スタッフ以外の村民の沿道での応援等により村民参加型の大会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「暑い日の登山マラソン」として定着させ、ブランドとして育てていく。第 1 回大会と比較すると、参加者数、参加者レベル、満足度等いずれも向上したため、良い面は継続しながら、登山道や林道での応援スポットの設置等検討が必要な点の改善に努める。

また、村民の参画を広げ、「村全体が盛り上がる村民・参加者一体型イベント」を目指し、早い時期から村内で PR をして関わる村民を増やしていく。

【目標・ねらい】

- ① 朝日村のシンボルである鉢盛山をキーに交流人口の増加及び県内外への PR
- ② スタッフ、ふるまい用食材提供、沿道での応援等村民参加型の大会
- ③ 観光事業を推進していくことを理解してもらうための意識改革

※自己評価 【A】

【理由】

第 1 回大会を上回る参加者数となり、参加者レベルの向上、大会満足度の向上が図られ、朝日村の PR、交流人口の増加に高い効果があった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある